

お部屋の「空間消臭」と 「浮遊ウイルスの作用抑制」に

※200ℓ相当の密閉空間における試験結果であり、実使用空間での効果を保証するものではありません。

※すべてのウイルスや菌に対する効果、またそれらからの感染予防を保証するものではありません。

有用成分

F-118配合

植物由来成分で安心・安全



「F-118」とは、
松、モミの木、ヨモギ、イラクサ、茶葉、椿、レモンなど118種類の植物から有用成分を抽出したエキスで作られた成分です。

ウイルスATシリーズ

抗ウイルス・除菌成分F-118を配合したカートリッジです。

※実空間での除菌・ウイルス除去を保証するものではありません。

Advance II



ウッディ消臭

(微香性 森林浴の香り)



ハーバル消臭

(微香性 リラックスハーブの香り)

ファン式カートリッジ

24時間連続揮散

有効面積目安 6畳10㎡

Aero II



クリスタル

スプレー式カートリッジ
間欠噴霧

有効面積目安 10畳16㎡

※専用の本体に入れて使用します。

F-118配合ゲルカートリッジによる 浮遊ウイルス除去試験

浮遊ウイルスの経時変化

試験品	試験時間			
	0(初期)	15分	30分	60分
対照(自然減衰)	18,000,000	4,100,000	6,600,000	1,900,000
F-118配合ゲルカートリッジ	10,000,000	1,800,000	340,000	8,000

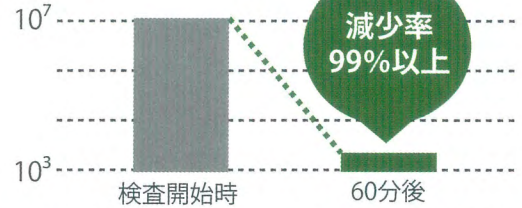
感染価単位:TCID₅₀/30 ℓ -air
検出限界値:250 TCID₅₀/30 ℓ -air

北里環境科学センター

※第3者試験機関による200 ℓ 密閉空間での結果です。
※実使用空間での効果を保証するものではありません。
※すべてのウイルス・菌を除去できるものではありません。

浮遊ウイルス除去試験で 浮遊ウイルスの作用を 99%抑制

TCID₅₀/30 ℓ -air



200 ℓ 密閉空間においてカートリッジを60分間設置。
1.0E+07 TCID₅₀/30 ℓ -airだった感染価が
8.0E+03 TCID₅₀/30 ℓ -airに減少した。

有用成分F-118の ウイルス不活化試験

表-1 作用液のウイルス感染価測定結果

試験ウイルス	対象	希釈	log TCID ₅₀ /mL		
			開始時	5分後	15分後
エンベロープウイルス	検体	100倍	-	<2.5	<2.5
	対照(精製水)	-	6.2	-	6.0

TCID₅₀: median tissue culture infectious dose. 50%組織培養感染量

作用温度: 室温

<2.5: 検出せず

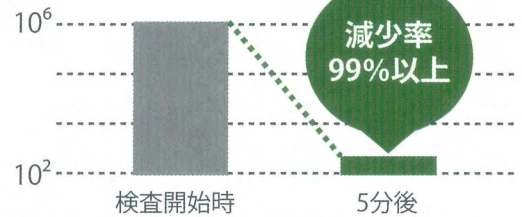
ウイルス液: 培養液を精製水で10倍に希釈

日本食品分析センター

※第3者試験機関によるF-118成分のシャーレ検査の結果です。
※実使用空間での効果を保証するものではありません。
※すべてのウイルス・菌を除去できるものではありません。

F-118成分のウイルス感染価測定で ウイルス減少率 99%以上を確認

TCID₅₀/ml



10⁶TCID₅₀/ml のエンベロープウイルスを5分で、
10^{2.5}TCID₅₀/ml未滿に不活化する効果があるという結果。
99.9%以上のエンベロープウイルスが感染力を失った。

試験結果 一覧



詳しくはこちらから

検査内容

- ・ウイルス不活化試験
 - ・急性経口毒性試験
 - ・殺菌効果試験 他
- (※検査結果は適宜更新)



ファン式芳香消臭剤

Advance II

アドバンス II

本体外寸:90(幅)×212(高)×92(奥)mm
重量:430g(乾電池含まず)



商品のお問い合わせは

スプレー式芳香消臭剤

Aero II

エアロ II

本体外寸:95(幅)×220(高)×86(奥)mm
重量:550g(乾電池含まず)

